

統合データベースプロジェクト 平成21年度 成果報告書 (独) 科学技術振興機構

1. 統合データベース支援

1. 1. ポータル整備・運用、広報、普及啓発

1. 1. 1 ポータル整備・運用、広報、普及啓発の実施計画

1) 意見集約システムの運用

意見集約システムを継続運用する。一覧表を自動作成するシステムを開発する。

2) 広報 本事業全体の広報活動とプロジェクト内サイトの構築・運用

1. 1. 2 ポータル整備・運用、広報、普及啓発の実施内容

(1) ポータルサイトWINGproの運用

個別DBについて、平成18年度当該事業の成果である、DB構築者および利用者からの意見を集約するためのシステムWINGpro(WWW Intelligent Navigator)の公開を継続した。利用者から要望が寄せられたArrayExpressを追加した他、AgriTOGO、GrainGenes、MaizeGDB、ZFIN、RGD、MGIを追加し、平成22年3月現在437DBを収録している。平成18年度は利用者を最適なDBに案内する仕組みを目的とし構築し、平成19年度以降は「専門家及び利用者の意見集約システム」として提供してきた。現在は大学等や各種検索サイト(googleやyahoo)からの利用が主である。意見や新たなデータベースの登録機能は充分活用されていないが、今年度寄せられた意見は、利用者として国立大学の教官より「大学の授業で利用するので、マイクロアレイに関連するデータベース ArrayExpress (EBI)を追加し、既存のGIBEX(国立遺伝学研究所)やGEO(NCBI)と比較できるようにすること」というものがあつた。これについては、追加すると同時にTogoTVの利用法への案内、関連ソフトウェアへの案内を追加した。また、データベース構築者からは、既登録データベースの名称変更や内容の更新について連絡があり、その内容を反映すると同時にデータ量など付随するデータも更新した。

利用状況は、(月平均訪問者数1,891 4月-3月の平均値)、ページビュー:263,610(平成21年度)。また、訪問者総数14,517の内訳は日本8,666(大学等2,029、政府機関等230、企業425、団体643、ネット4,360、不明979)、jpドメイン以外5,851(検索エンジンの検索サイトなどを含む)であつた。

データベースを登録する際に一覧表に反映する事項の書き込みを加えることで、一覧表に自動反映されるシステムを開発し、5月25日に公開した。



図1 WINGpro (<http://wingpro.lifesciencedb.jp/>) 一覧表

具体的には、MediaWiki エクステンションの仕様に従い、データベース一覧表示に必要なエクステンションおよびデータベース詳細ページに埋め込まれたカスタムタグを処理するエクステンションを開発した。データ処理モジュールとして、データベース詳細ページからデータベース一覧表示に必要なデータを抽出するモジュール、MySQL から処理対象となる WikiText を取得したり、処理結果を MySQL に保存したりするモジュールを開発した。このデータ処理の結果から、データベース一覧ページの HTML もしくは WikiText を生成する機能を持つモジュールを開発した。

これらの処理を毎日 1 回行うことにより、個別のデータベースの情報が追加修正されると一覧表が自動更新される。平成21年5月25日より稼働させている。

(2) 事業サイト等の運用と広報

文部科学省「ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業」のウェブサイト運営し、これらのサイトを掲載しているサーバ等の運用を行った。参画各機関の当該事業に関する新たに公開される研究成果の案内や各種行事や研修会などのお知らせを発信すると同時にプロジェクトの成果報告書を掲載した。利用状況は、(月平均訪問者数829 4月-3月の平均値)、ページビュー: 52,225 (平成21年度)。また、訪問者総数7,335の内訳は日本4,356 (大学等 843、政府機関等 115、企業408、団体286、ネット2,158、不明546)、jpドメイン以外 2,979 (検索エンジンの検索サイトなどを含む) である。RSS配信が最も利用され、成果報告書を掲載しているページの利用が多かった。



図2 ライフサイエンス分野の統合データベース整備事業サイト
(<http://lifesciencedb.mext.go.jp/>)

1. 2 データベース受入

1. 2. 1 データベース受入の実施計画

メタデータエレメントサイト（メタデータ要素レポジトリ）を継続運用する。

1. 2. 2 データベース受入の実施内容

平成19年度テストサイトとして構築した、メタデータとして記述する項目「メタデータ要素（エレメント）」とその記述規則を収録するメタデータ要素レポジトリを継続運用した。（図3）。既登録の国際標準やデータベースの情報更新の必要性はなかった。また、新規登録は行わなかった。



図3 ライフサイエンス分野のメタデータ要素レポジトリ
(<http://mder.jst.go.jp/>)

別表 平成21年度に於ける実施体制

研究項目	担当機関等	研究担当者
統合データベース支援 (1)ポータル整備・運用、広報、普及啓発 ①意見集約システム WINGpro の運用 ②事業サイト等の運用と広報 (2)データベース受入れ ①データベース受入れ	科学技術振興機構研究基盤情報部 同上 同上 同上 科学技術振興機構研究基盤情報部	黒田 雅子 河村 明子 大木 章夫 西村 佑介 黒田 雅子